

1. 昨年度における本校の体力テストの状況

【男子】

- ・ 50m 走については、全学年で全国平均を下回っているが平均差はほとんどが 1.0 未満であった。
- ・ 1 学年以外の学年で全国平均が下回っている種目が 5 種目以上存在する。

【女子】

- ・ 50m 走については、全学年で全国平均を下回っているが平均差はほとんどが 1.0 未満であった。
- ・ 1, 5 学年以外の学年で全国平均が下回っている種目が 5 種目以上存在する。

2. 今年度の状況と実践

◎多くの種目で全国平均との差が縮まり、体力が少しずつ向上している。

【男子】

◎合計点においては、低学年のみ全国平均を上回った。

▲学年が上がるごとに、全国平均に達しない種目が増えている。

▲高学年では、特に 20m シャトルランと立ち幅跳びにおいて、全国平均との差が 10 ポイント以上開いている。

【女子】

◎合計点においては、全ての学年で全国平均を下回ったものの大きな差はない。

▲男子同様、高学年では、20m シャトルランと立ち幅跳びにおいて、全国平均との差が大きく開いている。

【実践】

- ・ 全学年共通で行う、サーキットトレーニングを継続。
- ・ 本校の実態に合わせた各種検定表の修正及び改善。
- ・ 市の「コロナ・リカバリープラン」を基にした体育的行事の検討。
- ・ 運動委員会による運動遊びの立案、実施。
- ・ 毎週月曜日の業間に全員の外遊びの励行。

3. 次年度以降の対策や方針

- ・ 職員間での課題の共有。特にミニハードルにおいては、やり方含め正しい指導法を身に付けられるように、研修を行う。
- ・ 外遊びの継続、授業内の運動量確保に向けた授業改善及び研修。
- ・ 新体力テストの比較や分析をもとに体力の向上を図る。
- ・ 教育委員会「元気アップだより」を活用した家庭への現状の啓発。